

もっと もっと あーとの時間

他領域にひろがる 造形的要素

今回は前回の美的環境とも関連して、六年生を送る会や卒業イベントに向けて図画工作科の造形的資質が活かされている部分について紹介します。本来、図工美術は生活のなかでの有用感が大きいものです。生き方や心、生活自体を豊かにするためのものであってほしいと思います。情操を育てる図工美術の力を身近に子どもに感じさせてください！！

もっともっと楽しもう、あーと！！

ろくぼくにつり下げたプレゼント袋



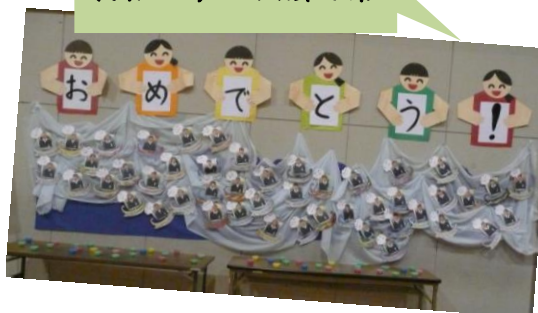
2色の布を波に見立てて貼られたメッセージカレンダー

台車に乗せた移動できる作り物の船



2色の波の布の上に将来の夢の帆掛け船

人型で、手にカードを持たせている



割り箸に帆(丸めて)をはる



13色のアーチ
(24色くらい
市販されています)



ピラミッドライト
(7色に光ります。ランプ作り用)



キャンドルサービスと
エンディングアトラクション
(ひかりのあと)

豊かな子ども達の発想を生み出し、
美的で楽しい環境が
活力を生み出します。



おまけ！！
ペットボトルキャップさん
(口にキャップを入れると音
が出ます)

